

## さぬき発 実践報告(発表資料)

香川県における JICA 研修「アジア・アフリカ地域 農家組織によるため池を利用した地域の水管理」の取り組みと成果

香川県農政水産部土地改良課課長補佐

中村康明

国際シンポジウム「アジア太平洋地域の水危機に立ち向かう」  
水危機克服へ 讃岐からの国際協力 実践報告  
香川県におけるJICA研修「アジア・アフリカ地域  
農家組織によるため池を利用した地域の水管理」の取組と成果  
平成27年2月11日 於 香川大学 OLIVE SQUARE  
香川県農政水産部土地改良課  
課長補佐 中村 康明




豊後池

## 報告内容

- はじめに
- 取組の概要
  - (1)概要
  - (2)「日本の知」の活用
  - (3)「香川の知」の活用
  - (4)研修プログラム
- 「香川の知」及び「日本の知」の有効性
  - (1)研修員からの評価
  - (2)研修員による普及実績
- まとめ



「かがわの農業農村整備」シンポジウム  
— ため池(みどり ためきち) —

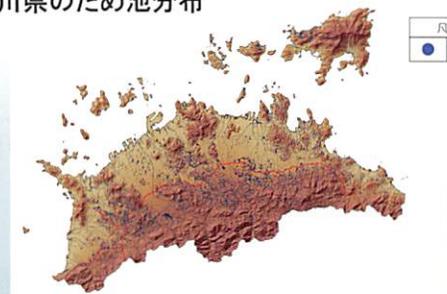
## 1. はじめに

本研修は、香川県、香川県土地改良事業団体連合会、JICA四国支部がアジア・アフリカ地域の農業用水管理技術者等に対して平成22年度から6年間の予定で、毎年約4週間(主に6月)実施。

本報告の目的は、これらの取組、成果等を紹介することを通じて、我が国の農家組織・公的機関等が有する農業農村の整備に係る知識「水土の知」のうち、とりわけため池の水管理等に関する「**香川の知**」及び「**日本の知**」の活用による国際貢献について、再考すること。

## 1. はじめに

### 香川県のため池分布



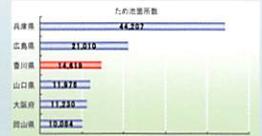
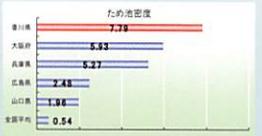
凡 例  
● ため池

## 1. はじめに

### 香川県のため池の状況

| 番号 | 郡市町村名 | ため池数<br>(箇所) | 総貯水量<br>(千m <sup>3</sup> ) | 水田面積<br>(ha) | 総灌漑面積<br>(ha) | 平均貯水量<br>(m <sup>3</sup> /ha) | ため池密度<br>(箇所/ha) | ため池率<br>(%) |
|----|-------|--------------|----------------------------|--------------|---------------|-------------------------------|------------------|-------------|
| 1  | 高 松 市 | 44,207       | —                          | 74,800       | 8,390         | —                             | 59.1             | 5.27        |
| 2  | 志 島 町 | 21,010       | 80,300                     | 47,300       | 8,476         | 3.8                           | 44.4             | 2.48        |
| 3  | 香 川 県 | 14,819       | 148,054                    | 28,600       | 1,876         | 10.0                          | 51.1             | 7.79        |
| 4  | 山 口 県 | 11,976       | 59,773                     | 44,400       | 6,110         | 4.9                           | 27.0             | 1.96        |
| 5  | 大 原 町 | 11,230       | —                          | 11,700       | 1,893         | —                             | 96.0             | 5.93        |
| 6  | 岡 山 県 | 10,084       | 160,330                    | 60,100       | 7,111         | 15.9                          | 16.8             | 1.42        |

※「H12.3月 香川県ため池実態調査」より

## 2. 取組の概要

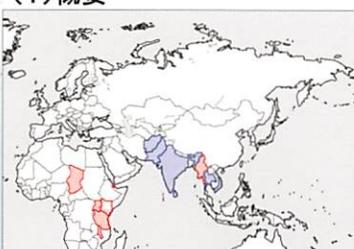
### (1)概要 研修参加者 一覧表

| 年度   | 実施期間            | 参加人数 | 参加国  | 年齢     | 性別            |
|------|-----------------|------|--|--------|---------------|
| 22年度 | 7月26日<br>～8月20日 | 10名  | チャド(2)、ジブチ、ケニア、マラウイ(2)、<br>タンザニア、ウガンダ、ミャンマー(2) | 28～41歳 | 男性9名<br>女性1名  |
| 23年度 | 7月4日<br>～8月1日   | 9名   | チャド(2)、ケニア、マラウイ(2)、<br>タンザニア、ウガンダ、ミャンマー(2)     | 24～40歳 | 男性9名          |
| 24年度 | 6月3日<br>～28日    | 9名   | ジブチ、ケニア、マラウイ(3)、タンザニア、<br>ウガンダ、ミャンマー(2)        | 27～43歳 | 男性7名<br>女性2名  |
| 25年度 | 6月3日<br>～28日    | 7名   | アフガニスタン、スリランカ(4)、タイ、<br>ベトナム                   | 28～39歳 | 男性6名<br>女性1名  |
| 26年度 | 6月2日<br>～27日    | 8名   | アフガニスタン、ブータン、インド、<br>ミャンマー、パキスタン、スリランカ(3)      | 30～39歳 | 男性8名          |
| 計    | 4週間×5回          | 43名  | 14か国   | 24～43歳 | 男性39名<br>女性4名 |

※参加国名後の括弧内は参加人数、括弧外は全て1名。

## 2. 取組の概要

### (1)概要



14か国から43名  
赤色(H22～H24)  
アジア・アフリカ  
地域を対象  
青色(H25～H26)  
アジア地域を対象

HP:世界地図SekaiChizu

## 2. 取組の概要

### (2)「日本の知」の活用

「日本の知」: 全国で共有する一般的な技術・知見

○ため池を中心とする農業農村整備分野に係る「日本の知」

- ① 農民自らが事業を発意し、施設管理、負担金徴収を担う「土地改良区制度」
- ② ため池の農業水利機能以外の機能について、貨幣換算価値化する「多面的機能」
- ③ 資材や施工に関する検査や設計基準等の「品質管理」

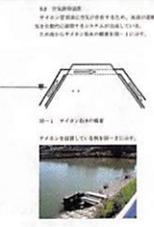


2. 取組の概要

(3)「香川の知」の活用

○「ため池」と「小規模かんがい」を中心とした地方の伝統知・技術

- ① 連結したため池による効率的な水利用
- ② 県境を越える香川用水とため池の補完関係
- ③ ため池からサイフォン取水(用水路のパイプライン化)
- ④ 渇水時の配水管理
- ⑤ 1300年以上前に築造された満濃池等の歴史的ため池の保全



9

2. 取組の概要

(4)研修プログラム

香川県の優位性を基に、関係機関の調整を経て、コースのゴール・イメージを「参加国において、水源不足緩和・水源利用率向上を目的とする小規模ため池の水管理・維持管理技術・方法の改善案(アクションプラン)が策定され、所属機関において普及されること」と定め、研修プログラムを作成

10

3. 取組の概要

(4)研修プログラム

プログラムの構成は、次の5単元に大別

- 単元A: 自国の状況、香川の農業、ため池の役割・多面的機能
- 単元B: 土地改良区の役割、運営システム
- 単元C: 水利施設と土木技術
- 単元D: ため池の管理・整備・保全の事例研究
- 単元E: 研修成果報告書作成

主として、単元A・B・Cを香川県農政水産部、単元Dを香川県土地改良事業団体連合会及び関係機関、単元EをJICA四国支部が担当

11

3. 取組の概要

(4)研修プログラム

単元A: 自国と香川の状況、ため池の役割・多面的機能



来県挨拶



カンントリージョブレポート発表会

12

3. 取組の概要

(4)研修プログラム

単元A: 自国と香川の状況、ため池の役割・多面的機能



ため池の出前授業



広報

香川の農業農村整備マスコット  
名 前:みどり ためきち  
出身地:満濃池  
身長:16cm  
体重:うどん2玉分

13

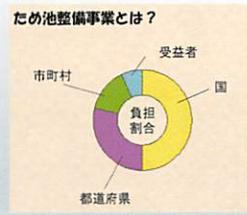
3. 取組の概要

(4)研修プログラム

単元B: 土地改良区の役割、運営システム



ため池の整備制度の講義状況



ため池の整備制度テキスト

ため池整備事業とは？

受益者: 国  
負担割合: 市町村, 都道府県

14

3. 取組の概要

(4)研修プログラム

単元B: 土地改良区の役割、運営システム



土地改良区の運営に関する講義状況



土地改良施設の視察

15

3. 取組の概要

(4)研修プログラム

単元C: 水利施設と土木技術

前刃金工法 (Front Care Wall Method)



ため池改修の設計基準テキスト



生コンの品質管理(空気量)

16

### 3. 取組の概要 (4)研修プログラム

単元C:水利施設と土木技術



水源・配水管理技術の  
現地視察



香川用水事業の現地視察

17

### 3. 取組の概要 (4)研修プログラム

単元D:ため池の管理・整備・保全の事例研究



放射温度計による漏水箇所の  
探索実験



サイホン管内の空気排除に  
関する実験

18

### 3. 取組の概要 (4)研修プログラム

単元D:ため池の管理・整備・保全の事例研究



3.2 空気排除装置  
サイホン管周囲に空気が存在するため、表面が蒸発されることも生ずる。このような空気を自動的に排除するシステムが完成している。  
ため池からサイホン取水の概要を図-1に示す。

図-1 サイホン取水の概要

サイホンを設置している例を図-2に示す。

図-2 サイホンを備えたため池

ため池からのサイホン(パイプライン)  
による取水方法テキスト

19

### 3. 取組の概要 (4)研修プログラム

単元E:研修成果報告書作成



研修成果報告書・技術  
レポート作成説明



研修成果報告書・技術  
レポート作成

20

### 3. 取組の概要 (4)研修プログラム

単元E:研修成果報告書作成



研修成果発表会



閉講式

21

### 4. 「香川の知」及び「日本の知」の有効性

プログラムに対する研修員からの評価と帰国後の普及実績から「香川の知」及び「日本の知」の有効性を考察

#### (1)研修員の評価: 評価指標

- ① **アクションプラン採用度:** 全研修員が研修終了時に作成する自国での技術普及に関する行動計画に採用した割合
- ② **達成度:** 各単元目標を完全に達成したと回答した割合
- ③ **重要度:** 各単元が自国の案件目標を達成する上で非常に重要であったと回答した割合

22

### 4. 「香川の知」及び「日本の知」の有効性 (1)研修員からの評価

「アクションプラン採用度」の評価

| 年度   | 単元 A<br>自国と香川 | 単元 B<br>土地改良区 | 単元 C<br>施設・技術 | 単元 D<br>事例研究 | 単元 E<br>成果報告書 | 平均  |
|------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|-----|
| 22年度 | 78%           | 83%           | 70%           | 93%          | -             | 81% |
| 23年度 | 44%           | 81%           | 76%           | 89%          | -             | 73% |
| 24年度 | 67%           | 70%           | 69%           | 81%          | -             | 72% |
| 25年度 | 79%           | 93%           | 96%           | 92%          | -             | 90% |
| 26年度 | 53%           | 75%           | 75%           | 94%          | -             | 74% |
| 平均   | 64%           | 80%           | 77%           | 90%          | -             | 78% |

23

### 4. 「香川の知」及び「日本の知」の有効性 (1)研修員からの評価

「達成度」の評価

| 年度   | 単元 A<br>自国と香川 | 単元 B<br>土地改良区 | 単元 C<br>施設・技術 | 単元 D<br>事例研究 | 単元 E<br>成果報告書 | 平均  |
|------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|-----|
| 22年度 | 60%           | 30%           | 70%           | 50%          | 60%           | 54% |
| 23年度 | 33%           | 33%           | 44%           | 44%          | 78%           | 46% |
| 24年度 | 56%           | 67%           | 67%           | 44%          | 89%           | 65% |
| 25年度 | 57%           | 43%           | 71%           | 67%          | 71%           | 62% |
| 26年度 | 38%           | 63%           | 75%           | 63%          | 75%           | 63% |
| 平均   | 49%           | 47%           | 65%           | 54%          | 75%           | 58% |

24

#### 4. 「香川の知」及び「日本の知」の有効性

##### (1) 研修員からの評価

###### 「重要度」の評価

| 年度   | 単元 A<br>自国と香川 | 単元 B<br>土地改良区 | 単元 C<br>施設・技術 | 単元 D<br>事例研究 | 単元 E<br>成果報告書 | 平均  |
|------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|-----|
| 22年度 | 90%           | 90%           | 70%           | 90%          | 80%           | 84% |
| 23年度 | 67%           | 67%           | 67%           | 67%          | 78%           | 69% |
| 24年度 | 33%           | 89%           | 89%           | 67%          | 89%           | 73% |
| 25年度 | 86%           | 71%           | 86%           | 83%          | 100%          | 85% |
| 26年度 | 75%           | 88%           | 100%          | 100%         | 100%          | 93% |
| 平均   | 70%           | 81%           | 82%           | 81%          | 89%           | 81% |

25

#### 4. 「香川の知」及び「日本の知」の有効性

##### (1) 研修員からの評価・評価結果

- 3指標の評価は何れも過半を得ており、特に「アクションプラン採用度」及び「重要度」は約80%と高い評価である。
- 個別には、「アクションプラン採用度」は『事例研究』『土地改良区』、「達成度」及び「重要度」は『成果報告書』『施設・技術』の各単元が高いことが分かる。

26

#### 4. 「香川の知」及び「日本の知」の有効性

##### (2) 研修員による普及実績

研修で作成したアクションプランに基づき、習得した技術や知見の自国における普及状況を帰国後6か月目に研修員から聴取

- 普及実績(累計人数)  
4年間で計約7,000名
- 毎年普及実績が向上し、  
研修成果が上がっている



27

#### 5. まとめ

- ① ため池を中心とした「香川の知」及び「日本の知」を活用したプログラムについて、14か国の研修員による採用度・達成度・重要度の評価は概ね高く、また、帰国後の普及状況も順調。
- ② 今回のプログラムは、とりわけ「香川の知」を活用。
- ③ その根底には、香川の厳しい水事情があり、例えば弘法大師が大改修をした満濃池の水を今に伝える知恵と技術が、海外の水管理にも有用。
- ④ 数多くのため池を造成し、守ってきた、私たちは、その「水土の知」を世界に発信・伝達することをもって、水危機に苦しむ各国の農業・農村の発展・安定に貢献し続けるべき。

28

### 御清聴ありがとうございました



研修員

香川県土地改良事業団体連合会、JICA、香川県

29

#### 参考資料

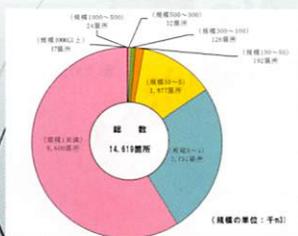
1. 香川県におけるため池の現状と取組
2. 平成26年度研修プログラム
3. 報道資料

30

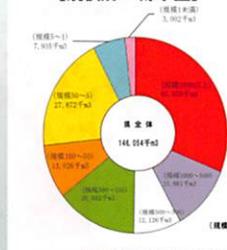
#### 1. 香川県におけるため池の現状と取組

##### 香川県のため池の状況

###### 【規模別のため池数】



###### 【規模別の貯水量】



※「H12.3月 香川県ため池実態調査」より

31

#### 1. 香川県におけるため池の現状と取組

香川県において、ため池は、古くから過水に悩まされている本県の、農業用水の過半を占める貴重な水資源であるとともに、ため池が点在する讃岐平野の田園風景は本県独自の環境資源となっている。

- ① 県内には1万4千カ所余りのため池が存在している。
- ② その多くは、築造後かなりの年数を経過しており、年々老朽化が進んでいる状況。

このような状況に鑑み、当県では農業用水の確保や地震や台風、集中豪雨などによる被害を未然に防ぐとともに、大規模ため池の耐震診断や老朽したため池の改修工事を実施しているところである。

32

### 1. 香川県におけるため池の現状と取組

#### 香川県老朽ため池整備促進計画について

香川県では、香川用水の通水後においても、ため池は農業用水の過半を占める主要な水源であるとともに、多面的機能を有している貴重な地域資源である。  
しかし、これらのため池の多くは築造後200年~300年経過しており老朽化が進行している。

**対策**

昭和43年度を初年度とする5か年計画「老朽ため池整備促進計画」を策定し、計画的な整備促進に努めてきたところである。

- ・第1次~第9次(昭和43年度~平成24年度)
- ・第10次計画を平成25年6月に策定(平成25年度~平成29年度)

**【新安心できるさめきのため池整備プラン(第10次5か年計画)】**

33

### 1. 香川県におけるため池の現状と取組

平成25年度に策定した「新たな5か年計画」の3本柱  
取組期間：平成25年度~平成29年度

従来の取組  
老朽ため池の整備促進

新たな取組  
5万未満の中小規模の  
ため池を中心に整備

新たな取組  
大規模ため池の  
耐震化整備の促進

新たな取組  
中小規模ため池の  
防災対策の促進

貯水量10万未満のため池のうち  
防災対策が必要なため池のうち  
の整備

◆大規模ため池:貯水量10万㎡以上 ◆中規模ため池:貯水量1千㎡以上10万㎡未満 ◆小規模ため池:1千㎡未満

34

### 1. 香川県におけるため池の現状と取組

| 5か年計画                           | 種別    | 内訳   | ため池数    | 事業費(百万円) | ため池数    | 事業費(百万円) |
|---------------------------------|-------|------|---------|----------|---------|----------|
| 第1次~第9次5か年計画<br>(昭和43年度~平成24年度) | 老朽ため池 | 全面更新 | 2,550箇所 | 96,245   | 3,359箇所 | 116,699  |
|                                 | 老朽ため池 | 部分更新 | 2,300箇所 | 20,196   | 4,375箇所 | 26,919   |
|                                 | 新築    | 新築   | 4,850箇所 | 116,437  | 7,734箇所 | 143,600  |
| 第10次5か年計画<br>(平成25年度~平成29年度)    | 全面更新  | 新築   | 4,915箇所 | 122,435  | 7,802箇所 | 3,561    |
|                                 | 全面更新  | 部分更新 | 170箇所   | 9,289    | 4,289   | 1,689    |
|                                 | 全面更新  | 新築   | 269箇所   | 1,689    | 18,899  | 4,899    |
| 計                               |       |      | 4,915箇所 | 122,435  | 7,802箇所 | 3,561    |

第10次5か年計画 (H25~H29で実施予定)

(改修前) (改修後)

35

### 1. 香川県におけるため池の現状と取組

#### 全面改修済みため池数(規模別)

| 年度         | 貯水量     | 規模  |      |       |       | 計     |        |    |
|------------|---------|-----|------|-------|-------|-------|--------|----|
|            |         | 大規模 | 中規模  | 小規模   | 計     |       |        |    |
| 全面改修済みため池数 | S43~H19 | 198 | 191  | 1,151 | 944   | 715   | 3,199  |    |
|            | H20年度   |     |      | 15    | 14    | 4     | 33     |    |
|            | H21年度   |     |      | 14    | 13    | 6     | 33     |    |
|            | H22年度   |     |      | 1     | 13    | 12    | 4      | 30 |
|            | H23年度   |     |      |       | 8     | 17    | 7      | 32 |
| H24年度      |         |     |      | 13    | 8     | 11    | 32     |    |
| 合計         |         | 198 | 192  | 1,214 | 1,008 | 747   | 3,359  |    |
| 規模別ため池数    |         | 199 | 192  | 1,877 | 3,751 | 8,600 | 14,619 |    |
| 整備率        | 貯水量別    | 99% | 100% | 65%   | 27%   | 9%    | 23%    |    |
|            | 規模別     | 99% | 42%  |       |       | 9%    |        |    |
|            | 中小規模    |     | 22%  |       |       |       |        |    |
|            | 5千㎡未満   |     |      |       |       | 14%   |        |    |

36

### 1. 香川県におけるため池の現状と取組

#### 大規模ため池の耐震対策について

**【背景】**  
東日本大震災では、岩手、宮城、福島3県にある、約1万2500カ所の「ため池」のうち、約2千カ所が被災し、うち3カ所が決壊した。  
この被災により、人家などの近隣にあるため池の決壊は、人命に関わる可能性のあることを改めて認識させられた。  
これらを踏まえ、香川県では、これから予想される南海トラフ巨大地震への新たな備えとして大規模ため池の耐震化整備を促進する。

**【当県の取組み】**

- ◆耐震点検調査 (H23年度~H26年度)  
地震等により決壊した場合、甚大な被害が想定される大規模なため池(貯水量10万㎡以上)を中心に実施中。
- ◆詳細な耐震診断  
国の「ため池設計指針」の一部改正により、新たにため池重要度区分AA種が追加されたことにより、H25年度から詳細な耐震診断を実施。
- ◆耐震補強工事 (H26年度~H29年度予定)  
耐震診断の結果、耐震性を有していないと判断されたため池については、国の「ため池設計指針」の改定を踏まえ、補強工事を進めて行く予定。

37

### 1. 香川県におけるため池の現状と取組

#### 香川県ため池耐震化整備検討委員会

◆技術的な問題  
国の「ため池設計指針」改正前に先行して実施しているため、技術的判断が困難。  
① 耐震診断フローが確立されていない。  
② 長時間地震動を考慮した場合の解析手法が確立されていない。  
③ 解析後の検証方法が確立されていない。  
④ 全国的に耐震対策工法の実施例が少ない。

◆技術的な問題の解決  
地震工学の専門家などで組織する「香川県ため池耐震化整備検討委員会」を設け助言等を受けながら技術的な問題を解決する。

38

### 1. 香川県におけるため池の現状と取組

#### 香川県の断層位置

39

### 1. 香川県におけるため池の現状と取組

#### ため池耐震点検箇所の震度分布

40

# 1. 香川県におけるため池の現状と取組

**ため池ハザードマップ作成支援**

**【背景】**  
 甚大な被害が発生した東日本大震災によるため池の決壊を受け、本県においても、ため池の防災減災に対する国民の意識が向上している。  
 このような中、大規模ため池の耐震診断、耐震化整備を計画的に進めているところであるが、ハード面への対応には時間的、財政的にも限界があるため、「ため池ハザードマップ」を作成し、ソフト対策も組み合わせることで、住民の防災意識を高め、被害の回避と軽減を図る。

**【実施計画について】**  
 平成23年度から25年度までの3年間で、市町が行なうハザードマップの作成を支援する。  
 ① 甚大な被害が想定される貯水量10万m<sup>3</sup>以上の大規模なため池  
 ② 下流域に人家や住宅等が多く、市町が必要と判断する10万m<sup>3</sup>未満のため池

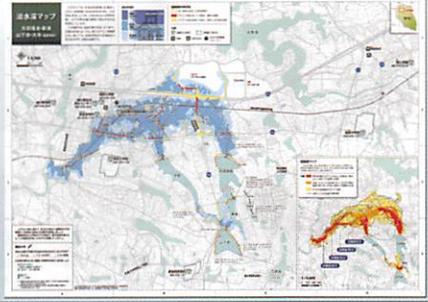
**【実施状況】**

|          | ① 貯水量10万m <sup>3</sup> 以上 | ② 貯水量10万m <sup>3</sup> 未満 |
|----------|---------------------------|---------------------------|
| ○ 平成23年度 | 32 箇所                     | 2 箇所                      |
| ○ 平成24年度 | 100 箇所                    | 9 箇所                      |
| ○ 平成25年度 | 48 箇所                     | 10 箇所                     |
| <b>計</b> | <b>180 箇所</b>             | <b>21 箇所</b>              |

41

# 1. 香川県におけるため池の現状と取組

ため池ハザードマップ作成支援(香川県綾川町の事例)



42

## 2. 研修プログラム (平成26年度 1週目)

| 研修日 | 区分    | 研修内容                  | 単元 |
|-----|-------|-----------------------|----|
| 6/2 | 講義    | 開講式・コースオリエンテーション、米果挨拶 | -  |
| 6/3 | 発表    | 研修員の自国での仕事内容とため池の状況   | A  |
|     | 講義    | 香川の農業                 |    |
| 6/4 | 講義    | 香川県の用水開発の歴史と将来の課題     |    |
|     | 講義    | ため池の役割・多面的機能、水資源教育・広報 |    |
| 6/5 | 講義    | ため池の整備制度、保全条例         | B  |
|     | 講義    | 土地改良事業と土地改良区の役割       |    |
| 6/6 | 講義・視察 | 土地改良区の運営システム          |    |

43

## 2. 研修プログラム (平成26年度 2週目)

| 研修日  | 区分    | 研修内容                     | 単元 |
|------|-------|--------------------------|----|
| 6/9  | 視察    | 水源・配水管理技術                | C  |
| 6/10 | 視察    | ため池の出前授業                 | A  |
|      |       | ため池の現地調査                 |    |
| 6/11 | 視察    | 香川用水開発の歴史                | C  |
| 6/12 | 講義・実習 | 水利施設と土木技術 (3) 施工管理       |    |
| 6/13 | 講義    | 水利施設と土木技術 (1) ため池改修の設計基準 |    |
|      | 講義    | 水利施設と土木技術 (2) ため池の施工技術   |    |

44

## 2. 研修プログラム (平成26年度 3週目)

| 研修日  | 区分    | 研修内容                  | 単元 |
|------|-------|-----------------------|----|
| 6/16 | 講義    | かがわの水需給               | C  |
|      | 講義    | 香川用水事業の概要             |    |
| 6/17 | 視察    | 香川用水事業の水源(早明浦ダム、池田ダム) | D  |
| 6/18 | 講義・実験 | 放射温度計によるため池の漏水調査      |    |
|      | 講義・実験 | ため池からのバイパスによる取水方式     |    |
| 6/19 | 講義    | ため池の管理・整備・保全の事例研究     | E  |
|      | 講義    | 習得知識および技術の活用に係る事例研究   |    |
| 6/20 | 講義・演習 | 研修成果報告書作成             |    |

45

## 2. 研修プログラム (平成26年度 4週目)

| 研修日  | 区分    | 研修内容           | 単元 |
|------|-------|----------------|----|
| 6/23 | 演習    | 研修成果報告書作成      | E  |
| 6/24 | 演習    | 研修成果報告書発表準備    |    |
| 6/25 | 演習    | 特定技術レポートの作成    |    |
| 6/26 | 演習    | 特定技術レポートの発表と討議 |    |
| 6/27 | 発表・討論 | 研修成果発表会        |    |
|      | 討論ほか  | 評価会、閉講式        |    |

46

## 2. 研修プログラム(満濃池)



弘法大師(空海)により再築された日本最大の農業用ため池



ゆる抜き



47

## 2. 研修プログラム(豊稔池)



国の重要文化財に指定されている豊稔池(1930年3月竣工)



全 景



上 流 側

築造中の写真

48

## 2. 研修プログラム(水口祭)



香川用水の配水の安全と豊潤を祈願する水口祭



テレビ局の取材を受けた研修員たち

49

## 2. 研修プログラム(その他)



重要な文化財庭園として国の特別名勝に指定された日本を代表する大名庭園「栗林公園」



香川県が誇る食文化「讃岐うどん」

50

## 3. 報道資料



H26.6.6 日本農業新聞 (果農挨拶)



H26.6.12 四国新聞 (水口祭)



H26.5.14 日本農業新聞 (出前授業)

51